

---

嘘

久埜彩夏

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

嘘

### 【Nコード】

N2547M

### 【作者名】

久埜彩夏

### 【あらすじ】

幼馴染の拓矢と夕希

二人の関係はあることで崩れていく

2020年2月3日…

別れを切り出される

その結末は？…

## （前書き）

小説書くの久しぶりだからなんか変な風になったけど気にしないで  
>  
<  
;

なんで嘘ついたの…

言ってほしかったよ

もう二度と会えないの？

君に会いたい…

「ごめえ〜ん」

「お前何してたんだよ」

私の名前は夕希今から幼馴染の彼とデート

「ごめんね」

「ったく」

これが最後のデートだとはまだ知らない…

〜数分後〜

「映画面白かったなあ〜」

「夕希…」

「なに？」

彼の顔がどんどん曇っていくのを見て不安になってきた

「ゆ…夕希…」

「だからなに？」

夕希はわざと明るく振る舞った

「わ…別れよ…」

かすかだったけど夕希にははっきり聞こえた《別れよう》と

「いやだ…なんでそんなこと言うの？」

夕希は泣き始めた

「もう俺にはお前という資格がないんだ」

「いやだよ…」

夕希は泣き崩れた

「ごめん」

彼は夕希を置いて帰って行った

「待つて…」

「待つてよ…」

夕希は理由が聞きたくって電話したりしたが拒否されていた  
数年間たつてから親から聞かされた

《心臓の病気で亡くなったみたいなの》と

会いたい…

は言っちゃいけない禁句の言葉…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2547m/>

---

嘘

2011年1月19日05時43分発行